



松総行第118号

令和6年6月5日

松本市議会議長 上條 温 様

松本市長 臥雲 義尚



議会からの政策提言への対応方針について

貴市議会から令和6年5月2日付け松議第49号により政策提言のありました事項について、下記のとおり回答いたします。

記

- 1 政策提言事項
DX・デジタル化に関する提言（総務委員会）
- 2 政策提言への対応方針
別添のとおり

政策提言への対応方針

1 DX・デジタル化に関する提言（総務委員会）

提言事項の要旨	現状及び対応方針
<p>(1) 個別施策を体系化・統合したDX・デジタル化に係る総合的な行政計画の策定</p> <p>松本市が取り組むDXの定義、目標を明確化した上で、目標の下に個別施策を体系化・統合し、目標達成に至る具体的な道筋(ロードマップ・KPI)を示した総合的な行政計画を策定してください。</p>	<p>(1) 担当課 総合戦略局DX推進本部</p> <p>(2) 現状 DX概念のあいまいさ及び自治体DXの特殊性については、市議会と同様の認識を持っていたため、あえて従来のような行政計画ではなく「骨太の方針」を作成し、毎年アップデートすることで技術進歩による変化に臨機応変に対応しています。</p> <p>また、「骨太の方針」の中で、ロードマップも示していると認識しています。ただし、「骨太の方針」と個別施策とのひも付けが見えにくい点については、改善の必要性を感じています。</p> <p>(3) 対応方針 骨太の方針及び個別施策を、体系的に見える化する実行項目リストを作成します。</p>
<p>(2) 広域連携による具体的な「変革」の実現</p> <p>KADOの事業で具体的な「変革」を実現している塩尻市と、DX・デジタル化の分野における広域的な連携を図り、松本市においても「変革」を実現してください。</p> <p>また、中核市としてリーダーシップを発揮し、積極的かつ主体的に取り組むことを期待しています。</p>	<p>(1) 担当課 総合戦略局DX推進本部</p> <p>(2) 現状 ア KADOは、約10年先行して事業を展開していることから、受注額等で本市と差があることは認識しています。 イ 行政のデジタル化分野においては、松本市の事業を塩尻市が、塩尻市の事業を松本市が参考にするなど、密に情報交換し、相互に事業推進の参考としている状況があります。</p> <p>(3) 対応方針 DX・デジタル施策について、塩尻</p>

	<p>市及び安曇野市と意見交換する枠組みを作り、連携を図れるよう声掛けします。意見交換に際しては、デジタルシティ松本推進機構など、松本市の事例を示し、積極的かつ主体的に取り組みます。</p>
<p>(3) 冷静かつ適切な財政的評価と高度な安全対策の実施</p> <p>ア 定量的評価だけでない定性的な評価手法を交えた適切な財政的評価を実施してください。</p> <p>イ 高度な安全対策（情報セキュリティ対策に係る外部監査や情報システムに関する業務継続実地訓練）を実施してください。</p>	<p>(1) 担当課 総合戦略局DX推進本部</p> <p>(2) 現状</p> <p>ア 行政評価の仕組みにおいて、内部及び外部の評価を実施しているところです。</p> <p>イ 仮想化基盤導入など高度な情報セキュリティ対策を実施しています。</p> <p>また、マイナンバー事務では安全管理措置を継続して実施しており、対策の内容を内部監査により評価しています。令和8年度には、外部機関の監査による第三者評価を行う計画です。訓練に関しては、総合防災訓練等の機会を捉え実地訓練を実施しています。</p> <p>(3) 対応方針</p> <p>ア 今後も、行政評価のスキームを活用し、引き続き評価を行います。</p> <p>イ 計画に沿って外部機関によるセキュリティ監査を実施するとともに、実地訓練の充実を図ります。</p>